

北海道循環資源利用促進協議会 平成 30 年度 事業報告

1 総会・部会合同会議（平成 30 年 7 月 12 日）

(1) 総会

- ・事務局から設置要綱改正（事務局所管課変更）、平成 29 年度の事業実績、平成 30 年度の事業計画（案）について報告し、いずれも承認された。

(2) 循環資源活用部会

- ・平成 29 年度のWG事業実績及び事業計画（案）について協議し、いずれも承認された。

（事業実績）

- ① 流木のリサイクル手法の構築WG（H29 をもって活動終了）
- ② 下水汚泥由来水素の製造・利用可能性WG

(3) 事業化促進部会

- ・平成 29 年度のWG事業実績及び事業計画（案）について協議し、いずれも承認された。

（事業実績）

- 廃石こうボードによるリン回収リサイクル事業化WG

(4) 特別講演

- ・総会開催記念講演として、AI の概要と循環資源ビジネスへの適用可能性に関する講演会を開催した（64 名参加）。

講 師	AI TOKYO LAB 株式会社（当時：現 AWL 株式会社） AI HOKKAIDO LAB 所長 土田 安紘 氏
演 題	AI って何だ？ ～活用事例と資源循環ビジネスへの適用可能性～

3 幹事会

○ 第 1 回幹事会（平成 30 年 6 月 15 日付け書面開催）

- ・総会議事（要綱改正、事業実績、事業計画（案）等）について協議するとともに、部会長・幹事の交代、会員の入退会について報告した。なお、協議事項についてはいずれも承認された。

4 シンポジウム等

- ・ビジネス EXPO「第 32 回 北海道技術・ビジネス交流会」における同時開催で「資源リサイクルフォーラム 2018」を開催した。
(エコロジア北海道 21 推進協議会(事務局:北海道経済連合会)との共催)

<開催概要>

名 称	資源リサイクルフォーラム 2018 ※ ビジネス EXPO「第 32 回 北海道技術・ビジネス交流会」における同時開催
主催者	北海道循環資源利用促進協議会 エコロジア北海道 21 推進協議会
内 容	<p>■ 資源リサイクルセミナー 「循環産業における IoT・AI 活用の可能性について」 日 時：平成 30 年 11 月 8 日(木) 14:30~16:30 場 所：アクセスサッポロ 2 階 研修室 A 参加費：無料 参加者：76 名 内 容： (1) 廃棄物処理・リサイクル IoT 導入促進協議会の活動概要について 一般社団法人資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌 氏 (2) 京都府における IoT 技術を活用した廃棄物処理モデルの構想について 京都府 環境部循環型社会推進課 技師 廣田 純一 氏 (3) AI ロボット選別機の可能性について 株式会社御池鐵工所 設計部二課 課長 河井 建治 氏</p> <p>■ 資源リサイクル展 日 時：平成 30 年 11 月 8 日(木) 10:00~17:30 平成 30 年 11 月 9 日(金) 9:30~17:00 場 所：アクセスサッポロ 1 階 大展示場 内 容：北海道循環資源利用促進協議会、エコロジア北海道 21 推進協議会の活動紹介(パネル展示)及びエコロジア北海道 21 推進協議会会員企業の取組・技術・製品等の紹介</p>